



THE ART of STONE ARRANGEMENT

100 SELECTED JAPANESE GARDENS

Nakata Katsuyasu

Kishiwada-jō Castle

はじめに

当書の目的

- ・日本庭園は自然石によって自然の景色を模倣しながらも、自然を超えた人工造形であることを示す。
- ・日本庭園は自然風景の模倣から、象徴庭園になり、次第に抽象庭園に変化する様子を示す。

庭園の選択基準

- ・日本庭園は時代の変化と共に多様化した。道教、仏教(浄土教・浄土真宗・禅宗)、自然主義、抽象主義の影響を受けながら変化したがここでは、大きな池庭、宗教的な庭、自然風景的な癒しの庭など、総ての様式の庭を網羅した。
- ・当書では石組による芸術的な抽象枯山水庭園に焦点を当てた。

備考

- ・庭園の作庭年代、作者、名称などは正確な年代が確定していない場合が多いが、大よその時代を記載した。庭園の記載順番は年代順を優先したが、同じ作者やグループ化の形成を優先した場合もある。

日本庭園は自然の素材で自然を超えた造形

日本庭園の素材は自然物であり、しかもその出来上がった造形も自然を写している。しかし、単に自然の造景を写しただけでは箱庭的な自然物のコピーであり、芸術とは言い難い。そこで、日本庭園の造景は自然の中のポイントとなる要素を抽象化するのである。自然を写しながらも抽象化された自然だ。このような創作分野は日本特有の自然に対する畏敬の念に由来していると思われる。世界的な基準に照らして庭園が芸術と言えるためには、高度に抽象化される必要があると考える。

庭園芸術の評価が難しい理由の一つは、素材が自然にある石、草木、砂、水であり、しかも、それらを使って造形された作品も、やはり何らかの意味で自然の風景であると言う点にある。多少下手な造形であっても、山や川があり、自然らしく作られていれば、ある程度の満足を得ることが出来るだろう。いわゆる自然の縮小コピーである。しかし、自然らしさを楽しむのであれば、自然そのものを楽しめば良いのであり、自然そのものに勝るものはない。庭園が芸術であるためには、自然の素材を使いながらも自然を超えた形を創造することが必要である。言い換えるなら、あるがままの自然ではなく、人が感じた自然、単なる自然を抜け出した、自然を超えたものを創造することが必要である。

「造園」と「いけばな」は類似の芸術分野

庭園と類似の芸術として、「いけばな」を考えればもっと明瞭である。素材は草木であって、神の作った自然そのものだ。この自然の素材で自然を超えた形を創作することは、一見簡単なようで非常に難しい。無造作に花を生けても、それなりに美しい情景を得ることができる。しかし「いけばな」が単なる自然ではなくて、芸術であると考えたとすれば、そこでは、花が作者によって自然から切り離され、改めて作者が作り上げた独自の自然が再構築されていなければならない。言い換えるならば、「自然を一度解体して、作者による新しい造景を再構築」することである。

「造園」や「いけばな」のように造形物が自然に近い分野の創作活動は、素材は自然であっても、造形は自然を超えたものにする必要がある。出来上がった造形物に感動を覚える理由は、生の自然の美しさにあるのではなく、その造形物に創造性があるからである。

FORMATION

THE ART of STONE ARRANGEMENT 100 SELECTED JAPANESE GARDENS

INTRODUCTION & INDEN

1.1 CLASSIC GARDENS: 65

1.2 MODERN GARDENS: 35

1.2.1 MODERN GARDENS (Shigemori Mirei) : 24

1.2.2 MODERN GARDENS (Other gardeners) : 11

序論

1 日本庭園の抽象枯山水庭園へのプロセス

1.1 抽象化度による庭園の区分の定義

①抽象的造形

- ①完全な抽象造形（自然の風景と関係ない龍安寺の世界）
- ②人工的造形（重森の造形）（自然の風景を高度に抽象し、自然には無い直線や曲線の形や色の造形）

②象徴的造形（物語や自然の風景をデフォルメした、やや抽象化された造形）

- ①神話・仏典の物語を視覚化した造形（例えば蓬莱山・須弥山・極楽など）
- ②自然風景の表象化（デフォルメ）した造形（例えば荒磯・洲浜・遣水など）

③具象的造形

- ①箱庭的に自然を模倣した造形（自然の要素を取捨選択せずに、あれこれ取り込んだ造形）
- ②自然の中にある庵・東屋の風景（自然そのものを眺める田園風景）

（抽象度は、象徴庭園と抽象庭園に大区分し、更にその中を2段階に細分化した。）

1.2 日本庭園は各種の庭園形態があるが、大まかに5形態に別けられる

日本庭園にもヨーロッパの庭園（フランスのベルサイユ宮殿）のような池庭もある。例えば東院（奈良市）・毛越寺（平泉）・二条城（京都市）等であるが、日本庭園 SELECTED 100 の対象は禅寺や一般市民が所有することが出来る庭が主で、以下項目の③④⑤を中心にした。

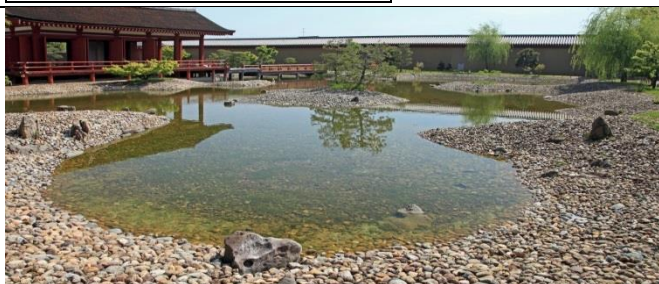
- ①道教の影響の不老不死への願望の庭：（鶴亀蓬莱の庭）
- ②大きな池庭のある覇者の庭：（貴族の極楽浄土の庭・将軍の庭・大名の庭・財閥の庭・元勳の庭）。
- ③禅宗の影響による「抽象枯山水庭園」；余白の多い抽象的配石による、考えさせられる庭。
- ④比較的巨石を使った「空間構成美の庭」；躍動的な構成の庭
- ⑤幾何学模様の庭：小堀遠州に始まり重森三玲が完成させた「直線・屈曲線・曲線・曲面・色彩の庭」

2 時代の影響による造形の変化

- ①奈良時代から平安時代（710－1185）：庭園の造形は自然の風景をデフォルメ（表象）した洲浜（添付写真 1）、荒磯（添付写真 2）、遣水が主体。但し、750 年頃作られた「須弥山石組」は中国の唐の影響が考えられる。
- ②鎌倉時代（1185－1333）に入ると禅宗の影響で「水墨画の鑑賞」の影響からか、立体的石組が多くなる。その代表は「龍門瀑」であるが、雛壇状の山畔への石組だ。代表的な庭園は西芳寺（添付写真 3）、天龍寺など。
- ③室町時代（1336－1573）の鹿苑寺（添付写真 4）に代表されるように、本格的に護岸への石組が始まる。
- ④室町時代の応仁の乱（1467－77）により京都は灰塵に化した。その結果、池泉庭園は勿論の事、大規模な庭園を作ることは不可能になった。禅寺では方丈の北側などに、石と砂による小さな庭が作られ、やがて、龍安寺（添付写真 5）が作られた。
- ⑤1603 年徳川幕府が確立（1603－1868）すると、治安が安定し、経済的にも豊かな時代になり、大名による大池泉庭園が競って作られるようになった。その代表は京都の二条城庭園（添付写真 6）、徳島城庭園（GardenNo34）であるが、巨石・珍石による「護岸尽くし」の庭が生れた。しかし、護岸の修景による造形はマンネリ化し、「脱護岸造形」が始まった。小堀遠州による金地院（添付写真 7）に代表される「護岸無き鶴亀島」である。枯山水であるから護岸は不必要になり、自由な形の鶴島、亀島が作られた。また芝離宮（添付写真 8）、栗林公園のように築山や山畔上への造形が生れ、更に玄宮園（彦根城）では池中への立石の分散配置などの空間構成美の庭が確立した。一方、江戸時代の抽象枯山水庭園にも見るべき発展があり、桂家（添付写真 9）、東海庵（添付写真 10）など優れた抽象枯山水庭園を生み出した。さらに江戸時代末期になるが、ダイナミックな庭として阿波国分寺（徳島市）、粉河寺（紀の川市）、旧久留島家（大分市玖珠町）も生まれる時代であった。

⑥重森三玲（1896－1975）は日本庭園を大改革した（作庭歴約 36 年、作庭数約 190 庭。庭園実測数約 360 余庭。著述数 75）。重森は日本庭園の大半を実測することで、古庭園の素晴らしさを再認識し、護岸無き枯山水庭園を東福寺（添付写真 11）に確立した。一方、ヨーロッパ抽象主義のマチス、カンデンスキーなどから感化を受け（その源流は日本の琳派でもあるが）、近代的で簡素な直線、曲線、色彩の庭を岸和田城（添付写真 12）旧友琳会館などで創作した。

上記に記述した庭園の写真例



1 東院（750 奈良市）：栗石による洲浜の造形



2 浄瑠璃寺（1107 京都府）：荒磯の造形



3 西芳寺（1339 京都市）：傾斜地に龍門瀑の造形



4 鹿苑寺（1397 京都市）：護岸の本格的石組



5 龍安寺（1537 京都市）：抽象枯山水庭園の確立



6 二条城（1626 京都市）；護岸への石組の極致



7 金地院（1632 京都市）：枯山水のため護岸不要



8 芝離宮（1686 東京都）：脱護岸後の造形が築山に



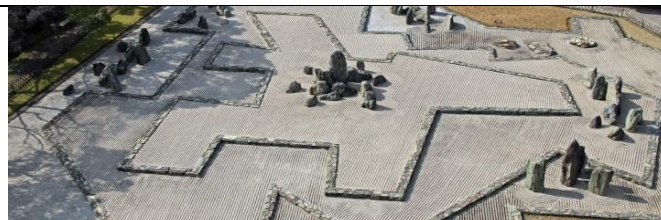
9 桂家（1712 防府市）：江戸時代の龍安寺とも



10 東海庵（1814 京都市）：江戸時代の龍安寺とも



11 東福寺（1939 京都市）：護岸造形から自由な庭



12 岸和田城（1953 岸和田市）：モダニズムの庭

1. 1 CLASSIC GARDENS: SELECTED 65-INDEX

① Famous Gardener INDEX

Famous Gardener & Group		Born—Died	Garden No	Name of Garden		Page
English	Japanese			English	Japanese	
Musō Soseki	夢窓 疎石	1275—1351	No 6, 7 No 8, 9	Eiho-ji ,Zuisen-ji Temple Saihō-ji, Tenryū-ji Temple	永保寺・瑞泉寺 西芳寺・天龍寺	13, 14 15, 16
Sesshū Toyō	雪舟 等楊	1420—1506	No 15	Jōei-ji (Sesshū-ji) Temple	常栄寺(雪舟寺)	23
Shiken Seidō	子建 西堂	1486—1581	No 17, 18 No 19, 20	Ryōgen-in, Kyū-syūrin-ji Kitabatake-jinja, Ryōan-ji	龍源院、旧秀隣寺 北畠神社、龍安寺	25, 26, 27, 28
Ueda Sōko	上田 宗箇	1563—1650	No 34, 35 No 36	Kyū-Tokushima, Nagoya Wakayama-jō Castle	旧徳島城、名古屋 城、和歌山城	42, 43 44
Kobori Enshū	小堀 遠州	1579—1647	No 37, 38 No 39, 40	Raikyū-ji, Nijō-jō Castle Konchi-in, Sentō-gosho	頼久寺、二条城 金地院、仙洞御所	45, 46 47, 48
Nisshu Gyokuen	玉淵 日首	不明—1661	No 46, 47	Entsū-ji, Fumon-ji Temple	圓通寺、普門寺	54, 55
Tōboku Sōho	東睦 宗補	不明—1828	No 61	Tōkai-an Temple	東海庵	69

② 各グループ(宗教教団・社会的地位)の庭園 INDEX

Group	Garden No	Garden Name (English)	庭園名 (Japanese)	Page
Paradise (極楽)	No1, 2, 3, 4	Tōin, Kyūseki, Jōruri-ji, Mōtsu-ji Tem.	東院、宮跡、浄瑠璃寺、毛越寺	8, 9, 10, 11
真言宗	No 64	Niō-hannyakyo	仁王般若經	72
浄土真宗	No23, 29 No33, 48, 49	Gangyō-ji, Nishihongan-ji, Akada-ke, Daitsū-ji, Fukuden-ji,	願行寺、西本願寺, 赤田家、大通寺、福田寺,	31, 37 41, 56, 57
日蓮宗	No28	Honpō-ji Temple	本法寺	36
Zen- Buddhism 禅宗思想	No 5, 6, 7, 8.	Ryūmon-ji, Eiho-ji, Zuisen-ji, Saihō-ji	龍門寺、永保寺、瑞泉寺、西芳寺	12, 13, 14, 15
	No 9, 10, 11, 12	Tenryū-ji, Rokuon-ji, Hōkoku-ji, Jishō-ji	天龍寺、鹿苑寺、保国寺、慈照寺	16, 18, 19, 20
	No 13, 14, 15, 17	Hekigan-ji, Fugen-ji, Jōei-ji, Ryōgen-in	碧巖寺、普賢寺、常栄寺、龍源院	21, 22, 23, 25
	No 20, 21, 22, 39	Ryōan-ji, Daisen-in, Taizō-in, Konchi-in	龍安寺、大仙院、退蔵院、金地院	28, 29, 30, 47
	No 44, 46, 47, 50 No 51, 58, 61	Ōmi-Kohō-an, Entsū-ji, Fumon-ji, Seigan-ji Shūon-an, Awakobun-ji, Tōkai-an	近江孤蓬庵、圓通寺、普門寺、青岸寺 酬恩庵、阿波国分寺、東海庵、	52, 54, 55, 58 59, 66, 69
Shrine (神社)	No 19, 63, 89	Kitabatake-jinja, Kyū-sekiyama Hōgon-in , Matsuo-taisha	北畠神社、関山宝厳院、松尾大社	27, 71, 100
Lord (戦国武将)	No18, 19 No 24, 25	Kyū-shūrin-ji Temple, Kitabatake-jinja Gifu-jō Castle, Asakura- Clan	旧秀隣寺、北畠神社, 岐阜城、朝倉氏遺跡	26, 27 32, 33
General (将軍)	No10, 12, 30, 38	Kinkaku-ji, Ginkaku-ji, Entoku-in, Nijo-jō	金閣寺、銀閣寺、円徳院、二条城	18, 20, 38, 46
Imperial (皇族)	No 40, 41 No.42, 43	Sentō-Imperial Palace, Shūgaku-in Imperial Villa Manshu-in, Katsura Imperial Villa	仙洞御所、修学院離宮 曼殊院、桂離宮	48, 49 50, 51
Garden of Castle (大名庭園)	No 34, 35, 36	Kyū-Tokushima-jō, Nagoya-jō, Wakayama-jō	旧徳島城、名古屋城、和歌山城	42, 43, 44
	No 45, 52	Ritsurin-kōen, Koishikawa-kōrakuen	栗林公園、小石川後楽園	53, 60
	No 53, 54, 55	Genkyū-en, Rakuraku-en, Okayama-kōraku-en	玄宮園、楽々園、岡山後楽園	61, 62, 63
	No 56, 59	Shiba-rikyū, Kurushima-ke Clan	芝離宮、久留島家	64, 67
Private (個人所有)	No 31, 32, 33. No 57, 65	Fukada-ke, Ogawa-ke, Akada-ke Katsura-ke, Momose-ke	深田家、小川家、赤田家 桂家、百瀬家	39, 40, 41 65, 73

1.2 MODERN GARDENS: SELECTED 35- INDEX

1.2.1 Shigemori Mirei (重森 三玲 1896－1975) : 24Gardens INDEX

Garden No	Name of Garden		Page	Garden No	Name of Garden		Page
	English	Japanese			English	Japanese	
No66	Tōfuku-ji Temple	東福寺	74P	No78	Murakami-ke Family	村上家	89 P
No67	Kōmyō-in Temple	光明院	76P	No79	Kokawa-ke Family	小河家	90 P
No68	Onohara-ke Family	斧原家	77P	No80	Kōridanchi-kōen	香里団地公園	91 P
No69	Inoue-ke Family	井上家	78P	No81	Zuihō-in Temple	瑞峯院	92 P
No70	Murakami-ke Family	村上家	79P	No82	Kōzen-ji Temple	興禅寺	93 P
No71	Ogura-ke Family	小倉家	80P	No83	Ryōgin-an Temple	龍吟庵	94 P
No72	Kishiwada-jō Castle	岸和田城	81P	No84	Kiyohara-ke family	清原家	95 P
No73	Maegaki-ke Family	前垣家	83P	No85	Kyū-Yūrin-kaikan	旧友琳会館	96 P
No74	Zuiō-in Temple	瑞応院	85P	No86	Kanyō-ji Temple	漢陽寺	97 P
No75	Ochi-ke Family	越智家	86P	No87	Kyū-Shigemori-ke	旧重森家	98 P
No76	Kōmyōzen-ji-Temple	光明禅寺	87P	No88	Sekizō-ji Temple	石像寺	99P
No77	Kuwata-ke Family	桑田家	88P	No89	Matsuo-taisya Shrine	松尾大社	100P

1.2.2 Other Gardeners : 11 Gardens INDEX

Famous Gardener		Born — Died	Garden No	Name of Garden		Page
English	Japanese			English	Japanese	
Ogawa Jihei	小川 治兵衛	1860－1933	No90	Murin-an	無鄰庵	102P
			No91	Heian-jingū Shrine	平安神宮	103P
			No92	Keitaku-en	慶沢園	104P
Nakane Kinsaku	中根 金作	1917－1995	No93	Jyōnan-gū Shrine	城南宮	105P
			No94	Seiryū-en (Nijō-jō Castle)	清流園(二条城)	106P
			No95	Adachi Museum	足立美術館	107P
Nabeshima Gakushō	鍋島 岳生	1913－1969	No96	Ryōgen-in Temple	龍源院	108P
Saitō Tadakazu	齋藤 忠一	1939－	No97-1 No97-2	Yano-ke Family Honraku-ji Temple	矢野家 本楽寺	109P
Nomura Kanji	野村 勘治	1950－	No98-1 No98-2	Bayern Germany Yamato-kan Kanzan-kaku	バイエルン 大連 (大和館・観山閣)	110P
Oguchi Motomi	小口 基實	1947－	No99-1 No99-2	Takemura-ke Family Onsyō-ji Temple	竹村家 遠照寺	111P
Taniguchi Yoshio	谷口 吉生	1937－	No100	Daisetz Suzuki Museum	鈴木大拙館	112P

全国の庭 (庭園No.・庭園名・記載P)

No 98-1 バイエルン ドイツ 110 P

No 98-2 大連 中国 110 P

兵庫県

No 60 神宮寺 68 P

No 68 斧原家 77 P

No 70 村上家 79 P

No 84 清原家 95 P

No 88 石像寺 99 P

岡山県

No 37 頼久寺 45 P

No 55 岡山後楽園 63 P

No 71 小倉家 80 P

No 85 旧友琳会館 96 P

鳥取県

No 31 深田家 39 P

島根県

No 16 萬福寺 24 P

No 32 小川家 40 P

No 78 村上家 89 P

No 79 小河家 90 P

No 95 足立美術館 107 P

滋賀県

No 18 旧秀隣寺 26 P

No 33 赤田家 41 P

No 44 近江孤蓬庵 52 P

No 48 大通寺 56 P

No 49 福田寺 57 P

No 50 青岸寺 58 P

No 53 玄宮園 61 P

No 54 楽々園 62 P

No 64 松尾神社 72 P

No 74 瑞応院 85 P

岩手県

No 4 毛越寺 11 P

長野県

No 64 仁王般若経 72 P

No 65 百瀬家 73 P

No 82 興禅寺 93 P

No 99 竹村家・遠照寺 111 P

新潟県

No 63 旧関山宝厳院 72 P

東京都

No 52 小石川後楽園 60 P

No 56 芝離宮 64 P

神奈川県

No 7 瑞泉寺 14 P

静岡県

No 63-1 摩訶耶寺 71 P

No 63-2 大福寺 71 P

No 63-3 龍潭寺 71 P

No 63-4 実相院 71 P

愛知県

No 35 名古屋城 43 P

福井県

No 25 朝倉遺跡 33 P

No 26 三田村家 34 P

石川県

No 100 鈴木大拙館 112 P

岐阜県

No 6 永保寺 13 P

No 24 岐阜城 32 P

三重県

No 19 北畠神社 27 P

奈良県

No 1 東院 8 P

No 2 宮跡 9 P

No 23 願行寺 31 P

大阪府

No 47 普門寺 55 P

No 69 井上家 78 P

No 72 岸和田城 81, 82 P

No 80 香里団地公園 91 P

No 92 慶沢園 104 P

和歌山県

No 36 和歌山城 44 P | No 62 粉河寺 70 P

京都

広島県

No 73 前垣家 83,84 P

No 77 桑田家 88 P

山口県

No 14 普賢寺 22 P

No 15 常栄寺 23 P

No 57 桂家 65 P

No 86 漢陽寺 97 P

福岡県

No 27 英彦山 35 P

No 76 光明禅寺 87 P

熊本県

No 13 碧巖寺 21 P

大分県

No 5 龍門寺 12 P

No 59 久留島家 67 P

徳島県

No 34 旧徳島城 42 P

No 58 阿波国分寺 66 P

No 97-1 矢野家 109 P

No 97-2 本楽寺 109 P

香川県

No 45 栗林公園 53 P

愛媛県

No 11 保国寺 19 P

No 75 越智家 86 P

